

利用間伐実施前



森林組合だより

第6号

平成22年11月1日発行

編集発行

中津川市森林組合
TEL.0573-65-1128
FAX.0573-65-7427



利用間伐実施後

組合の状況

平成22年9月30日現在

組合員と出資金	組合員数	出資口数	出資金
	4,738名	933,141口	93,314,100円

総代および 組合員数	中津川	坂下	川上	福岡	蛭川	山口	地域外	合計
	99	17	10	48	26	10	0	210名
	2,258	404	172	906	526	212	260	4,738名

●第6回通常総代会を開催●



代表理事組合長
糸魚川 柏三

【組合長あいさつ】

組合員の皆様には、日頃より森林組合の運営、また事業の推進に格別なご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

国内は政権交代により、落ち着かない情勢になり、不況の波が次から次へと押し寄せています。国内外ともに大変な時代となり、この先が案じられます。

森林組合も三年続いたの赤字経営となり、大変心配をおかけしましたが、平成二十一年度は少しばかりの黒字につながり、少し安心しているところです。

これもひとえに組合員の皆様のご協力の賜物と心より御礼申し上げます。平成二十年度末で製材センター、高峰山荘、夕森キャンプ場の三事業を中止し、平成二十一年度は森林整備事業一筋で頑張りました。中でも新しい事業の林業生産流通革新的取組支援事業、森

林境界明確化促進事業等は、実績を上げることができました。また保安林整備事業、林道工事事業など多くの事業の受注もあり、わざわざばかりの結果ができたことをうれしく思います。林業政策としては、「森林・林業再生プラン」に基づく路網の整備と施業の集約化による利用間伐の推進が基本施策となっており、木材生産の自給率を二〇二〇年までに50%を目指すというプランが出されています。

また、加子母の合板工場ですが、平成二十二年後半には完成をして平成二十三年には本格稼働します。この出来る限り協力が要かと思われまます。また、作業道の路網整備を進めています。材価に対して搬出費が高くなるのでコスト削減に努めていきます。今、山ばなれが進んでいて、山はあるが、どこにあるのか知らない人が増えていきます。不在村所有者も多くなっています。世代交代によりますます山の境界が不明になっていきます。地籍調査も行われておりますが、地域によっては実施がまだ先になるところや、実施の予定が立っていないところもあります。境界明確化にも多くの費用がかかります。

が、自分の山は自分で守る事が大切だと思います。最後に組合運営につきましましては、安全第一で無事故・無災害に努め、技術を磨き、経営もますます研鑽を積んでいくつもりです。組合員の皆様の期待に応えるべく努力をしていきますので、組合事業にぜひご協力のほど、お願いをいたしまして、ご挨拶とさせていただきます。

平成22年度事業計画

●運営の基本方針

【総括】

国では「森林・林業再生プラン」において補助金・予算の見直しが検討されており、県でも一部の予算付けが本年度から集約化団地（30ha以上の人工林を一体的に取りまとめ）の整備を行う5ヶ年計画の計画書に基づいた施業が条件となっております。森林組合ではこうした方針に基づく制度改革に対応するよう本年はその基礎作りが急務となります。そのため以下の部門ごとの方針は集約化に関する具体的な取組内容を示しました。

【指導部門】

これまで組合員だよりで開催案内していた組合員説明会を取りやめ、本年は地区の会合や集約化団

地内の所有者に対して説明会を開催することいたしました。

組合総代の方でお声を掛けて頂ければ地区の会合に向いて森林整備の説明をさせて頂きますのでご配慮お願いします。

【販売部門】

本年は、利用間伐における搬出量を5,000m³計画しております。そのために、集約化団地による効率的な森林整備を推進するため、森林所有者をとりまとめた施業の実施に努め、作業コストの削減を図るよう作業道等の開設や高性能林業機械を活用した作業システムの構築に努めます。

【森林整備部門】

本年は造林補助事業における民有林の伐捨間伐を600ha、市・公社・治山事業における間伐面積を併せると約800haの計画となります。これらを実行するため過去の履歴から施業の必要な所有者への働きかけや未整備森林の所有者を調べるなど積極的な営業に努めます。

【管理部門】

管理部門としては、安全衛生管理と事務の効率化に取り組み、現状を見直し円滑な組合運営を役員一同努めて参りますので、組合員の尚一層のご理解と関係機関各位のご指導とご支援をお願い申し上げます。

平成21年度 貸借対照表・損益計算書ならびに剰余金処分量について

貸借対照表

平成22年3月31日現在 (単位：千円)

資産の部		負債および資本の部	
科目	金額	科目	金額
流動資産	244,072	流動負債	66,307
①現金・預金	71,374	①買掛金	1,235
②売掛金	1,400	②未払金	54,428
③未収金	167,259	③預り金	1,209
④棚卸資産	182	④その他負債	9,435
⑤その他資産	4,510	固定負債	3,982
⑥貸倒引当金	△ 653	①退職給与引当金	2,924
		②役員退任慰労引当金	1,058
固定資産	57,572	負債合計	70,289
①土地	16,267	出資金	93,280
②森林	7,605	利益剰余金	161,733
③減価償却資産	113,467	①資本準備金	100
減価償却累計額	△ 90,453	②法定準備金	110,199
④無形固定資産	10,686	③任意積立金	49,833
		④当期末処分剰余金	1,601
外部出資	23,553		
その他の固定資産	105	資本合計	255,013
資産合計	325,302	負債資本合計	325,302

損益計算書

平成21年4月1日～22年3月31日 (単位：千円)

科目	金額
事業損益の部	
事業総収益	344,560
事業総費用	245,808
事業管理費	97,484
事業利益	1,268
事業外損益の部	
事業外収益	1,212
事業外費用	183
経常利益	2,297
特別損益の部	
特別利益	679
特別損失	1,195
税引前当期剰余金	1,781
法人税等	180
当期剰余金	1,601
前期繰越剰余金	0
当期末処分剰余金	1,601
剰余金処分量	
当期末処分剰余金	1,601
法定準備金へ積立	500
次期繰越剰余金	1,101

山のうつつりかわり!

森林の荒廃は、自然環境の崩壊、すなわち国土の崩壊ともいわれます。

最近では、クマやイノシシ、シカが人里に出てきて、畑を荒らしたり、人を襲うなどのニュースも頻繁に起こっています。このことは、中津川市内においても犬と散歩する時にクマに襲われだけがを負ったことは身近に知られていることだと思います。これは、本来動物たちが人間とは一線を画して住んでいた奥山と呼ばれる、その昔人間が踏みこんではいけない場所に、開発などや奥山まで人工林の植栽が行われ、その影響が及んでしまい、動物たちの食物を奪い、居場所を奪ってしまった結果、起こってしまっているといわれています。

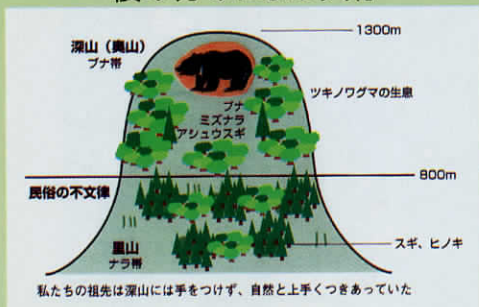
例えば、(すみわけ図3) のように代々林業家の方々などに聞き取りをして作られたものです。

(すみわけ図3)は、自然林に戻すべきところとして、奥山全域：野生動物生息域のみならず水源域など国土保全上、人が入ってはいけない山。尾根筋：山の命。一度壊すと森が復元しにくい。野生動物の通り道。手を入れてはいけないところ。山の上3分の1：広葉樹の落ち葉が養分となり下へ流れる。急斜面：自然林でないと崩れやすい。沢筋：沢筋の広葉樹林復元で、生物の多様性が大幅に戻る。(野生の動物が餌場として利用。広葉樹は花が咲き、虫が集まる。虫は川魚のえさになる。虫は川魚のえさになる。・・・など)

ところで、森林におけるいろいろなことが今起きていますが、一方では、森林の手入れが、手遅れ気味の森林も多くなってしまっています。最近では森林の再生といえばよく報道されてもいますが、今が、森林再生を促す森林整備を行う、そうした時期ではないかと思えます。

古き時代のすみわけ

棲み分けにより共存



(すみわけ図1)

現代のすみわけ状況

里山に動物が入ってきている。



(すみわけ図2)

理想的なすみわけ

自然林に戻すべきところ



(すみわけ図3)

※上記の800m地点のすみわけは、参考に中国山地を参考にしたものです。(3枚の図は、日本熊協会提供です。)

日本の森林が危ない!!!

「狙われる日本の森林」という見出しの記事を目にしました。中国の企業が、日本各地の水源地となる森林を買収しようとする動きが活発化しているそうです。テレビでも報道され、売買交渉が成立している事例があるということで、あるところでは、土地相場価格の10倍の金を出すから売却してほしいと持ちかけてきたとも言われています。

しかも、現在の法律体制では、個人所有の森林管理について国が口を出せない状況にあり、万が一売却されても国がその所有権を即時に把握する手段もないようですから、各個人の意識に依るしかないのが実情のようです。

外国資本が北海道や九州などの日本の森林を買い漁り、北海道では、イギリス資本が東京ドーム60個分もの森林を買収したといえます。

海外では、石油などの埋蔵エネルギーに替わる「金のなる木」として、森林への投資に人気が高まっているのだと言われます。このことは大変なことであり、日本は森林があるから水が豊富で、農業も安定し、飲み水にも困りません。

この先、日本国籍のない人が日本の土地を所有することがこれから先の日本にとって何らかの森林環境や森林整備等に悪影響を及ぼすのではないかと心配になってきます。

森林というのは公共性の高い資産であるといわれます。農地の売買には事前審査があるのに対して、森林売買は契約後に役所に届けるだけで、売買の実態が見えに

くという問題があります。非常に危険なことだと思います。

この先、日本の森林が根こそぎ外国人に買収され、日本の国土には豊かな森林があるのが当たり前だと思っていたのに、いつの間にか山が丸裸になっていたということも起こりかねません。森林が国民の命を守る大切な資源である以上、地域においても売りたい所有者がいれば国や県や市が買い上げたり、大切な森林は外国人が買うことが出来ない法制化も必要であると思います。事実、フランスやドイツでは森林の売買には厳しい制限があって、たとえ所有者でも勝手に宅地にすることは出来ないそうです。地域や国全体を守る公共性の高い大切な森林ですから、日本の土地で森林を含めて外国資本に渡してはならないし、なんとしても守らなくてはこの国が減ってしまうと思います。

また、ある一面として、自然環境の保全ということから考えますと、日本の国土の3分の2が森林に覆われています。中津川市内においても素晴らしい森林があります。そして、戦前の乱伐後は、現在までたくさんの植栽をして現在の森林環境が保たれているように見えます。でも実態は全国では開発や拡大造林のためにその多くが破壊され自然の広葉樹をスギ・ヒノキに植え替えた人工林が次々とできて、それが、林業の不況等で放置された森林が、荒廃するような状況にも陥ってしまいます。

中津川市森林組合としては、森林整備を進めることで、森林環境を守り、木材利用の推進に努めてまいります。

是非ともみなさん間伐をしましょう!!!

森林整備のために、木材を搬出して利用する「利用間伐」を行きましょう。最近では、木材の単価も下落し、初回の利用間伐では採算が取りにくい状況ですが、間伐をすることで、森林が甦り、健全な災害に強い森林となり、次回からの利用間伐では、採算の合う山づくりが出来て、収入も得られるようになっていきます。

利用間伐は、間伐率30%以上で、林齢や搬出材積により補助額が変動します。

詳しくは、森林組合事務所にお尋ね下さい!!!



「健全で豊かな森林づくりプロジェクト」

～福岡柏原川流域里山整備プロジェクト～

昨年从中津川市福岡地内において「福岡柏原川流域里山整備プロジェクト」と題し、この地域に特化した計画を作成し、その計画に基づき様々な事業を実施してまいりました。

施業の実績と致しましては、境界明確化促進事業により、森林の境界確定及び境界測量を334ha実施し、森林所有者の方々には図面を送付致しました。利用間伐につきましては9,36ha実施し、間伐に付随する支障木も合わせると1,073m³搬出いたしました。木材の総売上は18,167千円、市場手数料控除後は15,604千円、補助金6,116千円、組合事業費18,503千円で森林所有者への還元額は3,217千円となりました。搬出材の樹種別では、ヒノキ869m³、スギ164m³、その他40m³となりました。作業道については、トラックが走行できる作業道を2,203m、林内作業車(クローラ)が走行する作業路を1,461m開設しました。

また、搬出コストを削減するため、この地域に土場を設置(中間土場)し、中間土場から製材工場へ直送を行いました。森林所有者へのメリットは山から木材市場への距離が縮まることにより運賃が約半分になることです。しかし、組合にとっては市場の仕分けをする機械や人的な経験不足からコストが掛かってしまいました。初年度はこのような実績でありましたが、事業地を面で行うこと(何人もの所有者を取りまとめ一体的に整備すること)がまだ不十分であり、作業道も作業効率性やトラックの走行など実用性を考慮した取り組みが今後ますます必要になってくると思います。この地域で森林の整備にご協力頂いた森林所有者を始め地域の多くの方々に感謝申し上げます。



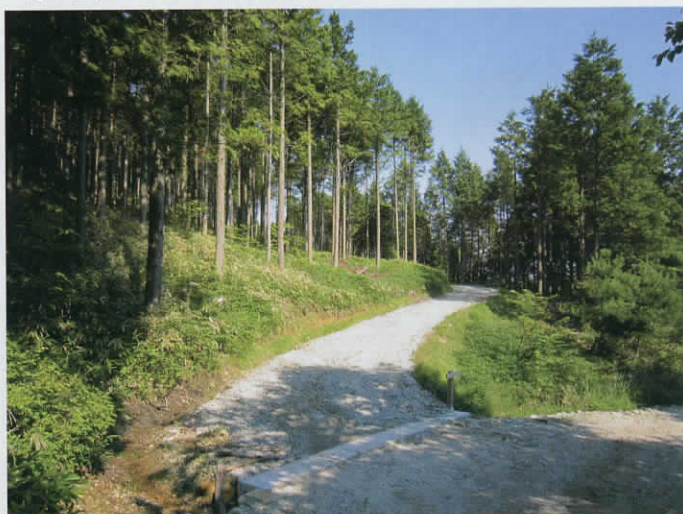
搬出する材木を作業道脇まで全幹で引き出します。



作業道脇に集積された材木を重機で掴み送りながら枝払いと玉切りを行います。



作業道を開設する際に法面の勾配を安定させるため、丸太組を行います。



作業道を開設した完成です。従来からあった林道から作業道を開設し、トラックの進入を可能にすることで低コストに繋がります。

集約化モデル業務について

日頃より中津川市森林組合の業務に格別のご配慮を賜り厚く御礼申し上げます。

今年度から中津川市森林組合でお世話になることになりました中津川市出身の三浦幹根と申します。私は主に、森林境界明確化事業、森

林施業地集約化を担当しており、昨年は皆様のご協力により福岡柏原新田地区森林境界明確化促進事業を行い334haの森林の境界を明確にすることができました。

実際に自分の境を知りたいと思っておられる方が多く、境界が明確に



【間伐が遅れている森林】



【間伐後森林】



未手入れ山林

間伐山林



広葉樹

ヒノキ

境界石

黄色矢印は所有界の見通し方向です(境の石も積んであり林層も全く違います)左右の林齢が違う事からも所有者の境が分かると思われま

なることで自分の山に関心をもって頂き、そして次は間伐(間引き)施業を申し込まれる方が多いです。

「山は持っているけど間伐などをするにはお金がかかるしなあ...」という話を聞きます。小さい面積で間伐を行うと、効率も悪くなり、コストもかかってしまうことが大きな原因のひとつです。そこで、小規模で分散する間伐等手入れの必要な森林を

地域的にとりまとめ、必要な作業路整備、林業機械により一体的、効率的に森林施業を行うことを施業地集約化といいます。

本年度は落合平石・横挽・清水平地区で森林施業集約化モデル業務を進めていますが、その中で問題となってくるのは、森林所有者の境が不明確になっていることです。世代も代わり山へ行く機会が減り、徐々に山への関心が薄れてきていると感じます。

私が皆様方をお願いするのは、関心が低い若い世代の方に山の素晴らしさ、山の良さを伝えていって欲しいです。

森林所有者の方の中には、「間伐をすると木が減って損だ。」と考えている方もいるかと思えます。しかし、適切な時期に間伐を行わないと、良質な木に育たないばかりでなく、気象害や病虫害にあうリスクも高くなります。間伐を行えば林内に陽が入り、下草も繁茂し、抵抗力の高い災害に強い健全な森林にもつながります。木の成長を促すことになり将来、一本一本の立木の価値が上がり木材搬出をした際、良質な木材として販売

できるため、個人に返金できる額が増えます。土地の転売をする際も間伐してある山の方が価値は上がります。山をそのまま放置しておく、山の価値は下がる一方です。山は大切な資産ですので、自分の山は自分で守るといことで、将来に向け山を大切な資産として活かすためにも今の内に間伐(間引き)をして手入れされることをお勧めします。

現在、ご負担なく間伐が行えますが、近い将来、国の方針で補助金がなくなり集約化した森林団地しか補助が出なくなり、間伐するにも個人負担が発生してしまう事があります。山の位置を知る調査や測量・間伐をするとかかなりの個人費用は掛かりますが、集約化した森林団地では負担なしで行えます。なお、集約化するには地区・地域ごとのまとまりのある森林が対象となります。地域全体で森林整備を行うことは、森林が良くなるばかりでなく、山を持つていない地域の方にも感心を持っていただけます。地区・地域をあげて山の事に取り組んでいただけますようご理解、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。



新人職員 紹介
三浦 幹根

森林調査・伐採・転用等のお願い

※補助を受けた森林は、伐採・転用・譲渡等を5年間はしないで下さい。どうしても売り渡し等をしなければならない場合には、必ず事前に森林組合へご連絡下さい。
◇森林団地を集約化する際、森林調査等で森林所有者様の山林へ立ち入らせていただく事もありますので、ご協力下さい。

「森の合板工場」について

県では、「岐阜県森林づくり基本計画」(H18.2策定)に基づき、「健全で豊かな森林づくりプロジェクト」、「県産材流通改革プロジェクト」などの4つのプロジェクトを通じ、持続可能な森林づくりを進めています。

「県産材流通改革プロジェクト」の一環として、国産材100%でつくる合板工場の建設が加子母地内で進んでいます。間伐等で出てくる未利用材(曲がり材や短尺材)から、住宅用の床材等となる合板を製造し、今までは、林内に放置されてきたこのような材の受け皿となることが期待されます。

森林組合では、環境保全と低コストで計画的な木材生産を両立させるため「福岡柏原川流域里山整備プロジェクト」(=健全で豊かな森林づくりプロジェクト)を進めています。

この取り組みの中でも、コストをかけて搬出することが経済的に不可能であった間伐材を、山の近くに土場を設置することにより運搬経費を削減し、合板用原木として安定的に供給していく仕組みづくりに日々取り組んでいます。

今後とも、組合員の方々の「健全で豊かな森林づくり」に取り組んでいきますので、ご理解とご協力をお願いします。

合板工場の概要

- 所在地：中津川市加子母東万賀5371番地1
- 事業主体：森の合板協同組合(平成20年9月設立)
構成員:セイホクグループ現地法人5者、岐阜県森林組合連合会、
岐阜県素材流通共同組合
- 事業面積：約9.8ha 事業費:約60億円
- 工場規模：原木使用量約10万m³(スギ、ヒノキ、カラマツ)

原木には曲がり材などB材を使用

合板工場の完成予想図



森の合板協同組合 森の合板工場



工事棟建設状況(H22.9)

工事完了後の予定

- 【工事完了】 平成22年12月
- 【試験稼働】 平成23年 1月~3月(JAS認定取得)
- 【本格稼働】 平成23年 4月

※使用する材は、スギ、ヒノキ、カラマツ(太さ14cm以上、長さ2mまたは4m)

購 買 品 斡 旋

ブーツ・スパイクタビ

森林作業は丈夫なケブラー長靴がおすすめです。

KEVLAR



マイティブーツNS

NS
標準価格16,695円を
10,710円

NSワイド
標準価格17,640円を
11,030円

KEVLAR



マイティブーツHG

HG
標準価格16,275円を
10,500円

HGワイド
標準価格17,115円を
10,820円



光和スパイク地下足袋

N8V 先割
標準価格4,935円を
3,700円

N8R先丸
標準価格5,148円を
3,800円



入 浴 剤

天然温泉にとっても近い薬用入浴剤です。



ヤングビーナス

ポリ容器入り 2.5kg **3,150円**
詰替え用 (徳用袋) 2.7kg **3,150円**

熊よけグッズ

山あるきの必需品



熊よけ鈴
南部熊鈴 (2連)
4,630円

熊よけ鈴
1,040円



熊撃退スプレー
カウンターアソルト
10,290円



注文先

その他たくさん取り扱っております。お問い合わせ・ご注文は下記までご連絡ください。

中津川市森林組合 TEL. (0573) 65-1128 ・ FAX. (0573) 65-7427

名義変更 (相続・譲渡・代表者変更) による届出についてのお願い

組合員様の死亡による相続、山の譲渡、団体・法人の代表者変更などによる名義変更の届出をされる方はご連絡下さい。郵送にて用紙をお送りいたします。また組合事務所までお見えになる方はご印鑑をお持ち下さい。その場で手続きいたします。なお近くの運営委員の方で組合員様の変更にお気づきの方はお知らせください。こちらで手続きさせていただきます。